

かたらい

三郷市青少年育成推進委員協議会

こんにちは！

青少年育成推進委員です！

青少年の健全な成長を阻害するおそれのある行為から青少年を守る環境づくりを行うために、青少年育成埼玉県民会議会長である県知事や、三郷市長から委嘱を受け、活動する地域のボランティア団体です。

青少年実態調査や家族のふれあいプレゼント事業などを行い、青少年の健全育成の環境づくりに取り組んでいます。

当広報紙は三郷市青少年育成推進委員協議会の総務広報委員会によって執筆・編集・発行しています。

青少年実態調査

青少年実態調査として、「あいさつに関する意識調査アンケート」の実施と、7月7日に瑞穂中学校・南中学校において推進委員6名が「朝のあいさつ運動」に参加しました。

参加をしてみても、「朝のあいさつ運動」は、子どもたちが気持ちよく一日を始めるための大切な活動だと感じました。朝の「おはようございます。」の一言は、子どもたちに安心感を与え、地域の豊かな雰囲気づくりにもつながります。また、地域の皆さんによる見守りや声かけは、防犯や交通安全の面でも重要な役割を果たしていると感じました。元気にあいさつをしてくれる生徒が多く、自ら進んであいさつしてくれる姿は、日々の積み重ねの成果だと思っています。

また、学校でのあいさつ運動やアンケート結果を踏まえ、家庭でも朝や帰宅時のあいさつを大切にする事で、学校や地域でのあいさつの輪はさらに広がると感じました。一人一人の笑顔と元気なあいさつが、子どもたちの健やかな成長と安心して暮らせる地域づくりにつながります。



青少年実態調査「あいさつに関する意識調査アンケート」について

調査の概要・目的

近年、人々とのつながりの希薄化が地域や社会で問題視されています。その中で、当協議会では日頃行われている身近なコミュニケーションツールである「あいさつ」に焦点をあて、家庭・地域におけるあいさつや防犯に対する意識の確認と現状について、小中高校生及びその保護者、教職員を対象にアンケートを実施しました。



調査結果について

保護者の方に一番多くの回答をいただき、あいさつや防犯について日頃から意識的に実践されていることが分かりました。

一方で回答者の4人に1人があいさつに対して、「苦手意識」や「あいさつのしづらさ」を感じています。

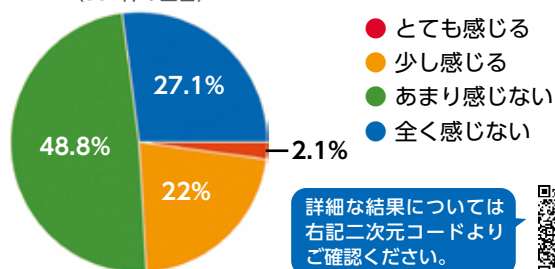
～あいさつに関する意識調査アンケート～

- あいさつをする相手
- 知らない人へのあいさつをするか
- あいさつへの苦手意識やあいさつをしづらいと感じるか
- あいさつへの苦手意識やあいさつをしづらいと感じる理由
- あいさつは必要だと思うか
- あいさつをすると良いことは何か
- 「知らない人に気をつけるように。」と言われたことはあるか
- どのような環境ならあいさつがしやすくなると思うか
- あいさつを増やすためのアイデア・アンケートに対するご意見
- お子様にあいさつをするよう指導しているか(保護者のみ回答)
- お子様と防犯について話し合っているか(保護者のみ回答)
- お子様に防犯についてどのように声をかけているか(保護者のみ回答)

…など計16問

あいさつに対して苦手意識や
あいさつがしづらいと感じますか。

(332件の回答)



詳細な結果については
右記二次元コードより
ご確認ください。



今回の調査結果を受けて

青少年実態調査では多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。結果から感じたことは、「子は親の行動を見ている。」という意見が多いということです。子どもに対して、あいさつをすることを促しがちですが、大人が率先してあいさつをすることで見本となり、あいさつが日常的に行われる地域を作り出すのではないかと感じました。また、「あいさつをすることは重要だが防犯上、見知らぬ人への警戒心もなくしてはいけない。」という意見もあり、「あいさつをする人＝地域内で顔を合わせる人」という認識を持つことや同じ地域内でのつながりを作る機会も必要だと実感しました。

そのためにも当協議会として、あいさつがしやすく、青少年を健全に育成できる環境づくりや今回のアンケート結果を活かした事業の実施に今後も取り組んでまいります。



街頭啓発活動

7月は『青少年の被害・非行防止全国強調月間』

11月は『子供・若者育成支援推進強調月間』です。

今年度は戸ヶ崎香取神社の祭礼が猛暑の影響で、1ヶ月早い開催となり、例年、同日に実施している啓発活動を6月5日に市内3か所（いなげや三郷戸ヶ崎店・JR武蔵野線新三郷駅・つくばエクスプレス三郷中央駅）で行いました。啓発活動では、元氣にあいさつをしてくれる子どもたち、活動に興味を持ってくださるご家族など、たくさんのかたに青少年の被害・非行防止に関する資料を配布し、啓発を行うことができました。

最近、ニュース等で闇バイトや若年層の犯罪をよく耳にするようになりましたが、私たちの活動がそれらを未然に防ぐ一助になれば幸いです。今後もしも子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、私たちは全力で活動してまいります。



家族のふれあい プレゼント事業



「家族のふれあいプレゼント事業」として、市内小学校へ入学される新1年生とそのご家族を対象に、入学を迎えるまでのひとときを楽しく過ごしていただけるよう、「おりがみ」と「チューリップとランドセルのぬりえ」をお贈りしました。

また、ご家庭でインターネット・スマートフォン利用のルールについて話し合うきっかけづくりとして、「スマホ時代の子育てのリーフレット」もあわせてお配りいたしました。

これからも、子どもたちが安心して楽しい学校生活をスタートできるよう、活動していきたいと思っています。



推進委員視察研修会

11月5日「推進委員視察研修会」が行われました。11名の推進委員が参加し、上尾市にある埼玉学園を訪問しました。

埼玉学園は、児童福祉法第44条に規定する児童自立支援施設で、埼玉県が設置・運営している児童福祉施設です。また、園には上尾市立小・中学校の分教室・分校が設置され、本校と同様の教育が行われています。在籍している児童生徒は、不良行為よりも虐待を受けた子が増えているという説明を受けました。

園では、子どもたちが家庭的な雰囲気の中で寮生活を送れるように、寮母さんたちが日々努力をされています。

子どもたちが園内での指導を通じて、一日でも早く社会の一員として自立できるよう願っています。本年の研修会も大変有意義な研修会となりました。



11月は「いじめ撲滅強調月間」です

いじめられた子どもには心身に深刻な被害が生じることがあります。いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。埼玉県では、11月を「いじめ撲滅強調月間」と定め、いじめ問題の根絶に取り組んでいます。いじめを受けていたり、いじめに気が付いたりしたら一人で悩まず相談・通報してください。



埼玉県マスコット「コバトン」

相談先

○彩の国 よりそうみんなの電話・メール教育相談（埼玉県立総合教育センター）

18歳以下の子ども用（無料）

#7300又は0120-86-3192

保護者用

048-556-0874

Eメール相談

soudan@spec.ed.jp

※Eメール相談の受信確認及び返信は、平日9時から17時の時間帯に行っています。

※学校や教職員に対する苦情等については、直接、指導や調査等を行うことはできません。

編集後記

総務広報委員長 横井 直美

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。今号からページ数が少なくなりましたが、三郷市青少年育成推進委員協議会の活動を分かりやすくお伝えしたいと思っています。

地域や学校で、子どもたちは明るく「あいさつ」をしてくれます。とても嬉しくなり、温かい気持ちになり、元氣になります。三郷中で元氣な「あいさつ」の音が聞かれるようになると素敵ですね。今後も私たちは三郷の子どもたちが元氣に明るく健やかに成長するよう、見守っています。

発行：三郷市青少年育成推進委員協議会

編集：三郷市青少年育成推進委員協議会 総務広報委員会

事務局：三郷市教育委員会青少年課 ☎048-930-7795（直通）